

「待ちに待った」の一言に尽きます。昨年、一昨年あらゆる地域活動が制約され、なんとも寂しく辛い期間でした。

まだコロナは終息していませんが、社会活動がようやく動き始めた中での矢沢地区文化祭そして矢沢伝統芸能伝承大会でした。

文化祭は、ブランクを全く感じさせない充実した展示部門、華やかなステージ発表、来訪した人たちは皆、満足の顔でした。

伝統芸能伝承大会は、矢沢地区が誇る胡四王神楽、幸田神楽を中心に将来の伝統芸能を担う、こども園の園児、小学生たちも加わり、矢沢地区ならではの素晴らしい舞台でした。

郷土芸能は、時代を超え、大

矢沢地域情報誌

発行/矢沢地域振興会 矢沢振興センター 内容・A29・5480 印刷/トーハン印刷株式会社

矢沢地区 芸術の秋

矢沢地域振興会 会長 中島 健次

やまぼろひ

No. 42

2022年 12月 15日

mail : yashinkai025@gmail.com



切に守り継承されてきた地域の大きな財産です。迫力のある神楽舞を鑑賞し本当に感動の一日でした。



胡四王百姓踊り保存会の皆さん





司会者の佐藤智明さん



先陣を切って女性コーラス「矢沢コールファミリー」の熱唱



挨拶する文化祭多田功実行委員長

華やかにステージ発表開催
 7団体3年振りの熱演



「崇扇会」の舞踊「壇の浦恋歌」



「崇扇会」の舞踊「男の残雪」



混声合唱の「風のハーモニー」の熱唱

改選「民生委員・児童委員」を紹介します

令和4年12月1日、民生委員・児童委員の改選がありました。矢沢地区の民生委員・主任児童委員19名中、9名の方が交替しました。長年にわたり大変ご苦労様でした。今後3年間、新たに任命された下記メンバーが皆様の生活支援をします。お困りごとや不安なことがありましたら遠慮なくご相談ください。

氏名 (○印は新任)	担当地区
中島 京子 (なかしま きょうこ)	矢 沢 (一、 四)
○鈴木 幹子 (すずき みきこ)	矢 沢 (二、 三)
○小原 一男 (おばら かずお)	矢 沢 (五、 六、 鞍掛)
小原 佳子 (おばら けいこ)	幸 田
○小原 昇 (おばら のぼる)	高 松 第 一
松田 好隆 (まつだ よしたか)	高 松 第 二
川村 正志 (かわむら まさし)	高 松 第 三
佐々木香子 (ささき きょうこ)	高 木 第 一
○佐藤 恭治 (さとう きょうじ)	高 木 第 二
○江 信一 (こう しんいち)	高 木 第 二
高橋 純子 (たかはし じゅんこ)	高 木 第 三
佐藤 智明 (さとう ともあき)	高 木 第 三
○鴨澤 幸子 (かもざわ さちこ)	高 木 小 路
○小原 則子 (おばら のりこ)	高 木 小 路
○芳門 寿子 (よしかど ひさこ)	東 十 二 丁 目
佐藤 英久 (さとう ひでひさ)	東 十 二 丁 目
大木 信彦 (おおき のぶひこ)	東 十 二 丁 目
押切 和美 (おしきり かずみ)	主任 児 童 委 員
12月1日現在未定	主任 児 童 委 員



「愛唱歌を歌う会」の皆さん



構成吟・源義経哀歌を吟ずる「矢沢吟詠会」



息もピッタリ「快活ダンスカサブランカ」のダンス



矢沢が誇る「藤美会」の民謡



尺八の音色と共に！

小学校コーナー 学習発表会

10月22日土曜日、矢沢小学校の学習発表会が行われました。天候に恵まれ鑑賞には適した状況で、子供たちは日頃の学習の成果を元氣いっぱい表現してくれました。コロナウイルス感染防止対策のため、保護者は、自分の子どもの発表のみの参観でした。



3年生「モチモチの木」

3年生の音読劇「モチモチの木」は、演者以外の子供たちはナレーターという構成で新鮮味がありました。演者の子供たちは自信に溢れきらきらしていましたし、ピアノとリコーダー演奏も素晴らしく子供たちの成長を感じずにはいられない作品でした。最後の学校行事となる6年



矢沢小学校創立50周年を祝う会

生は、東日本大震災をテーマにした「荒波を乗り越えて」でした。内陸で地震を経験した私ではわからなかった被災地の話を、当時生まれて間もなかった子供たちに忘れずに伝えていかなければいけないと教えられたような気がします。

発表会終了後に6年生の児童と保護者で創立50周年を祝う会を開催し、児童からのお祝いの言葉と参加者全員で校歌斉唱を行いました。在校生全員と保護者の皆様で式典を行えなかったことが残念ではありません。



6年生「荒波を乗り越えて」

最後になりますが、この状況下で学習発表会を開催していただいた校長先生はじめ諸先生方、受付を行っていたいた各学年の役員の皆様に心より感謝申し上げます。

中学校コーナー

生徒会役員選挙

【10月4日(火)】



10月4日に生徒会役員選挙立ち会い演説会・投票・開票が行われ、新しい生徒会役員が選出されました。

た。18日には、役員一人一人に校長先生から認証書が手渡され、新生徒会長の小松要平さんが新役員を代表して活動に向けた意気込みを述べました。

文化祭

【10月23日(日)】



今年「私の主張」合唱コンクール、「吹奏楽部」のステージ発表で行われた「東雲

祭」。「合唱コンクール」では各学級の歌声が体育館に響きわたりました。生徒会の企画で全校生徒が取り組んだモザイクがステージいっぱい飾られ、PTAの方々にも受付や消毒の協力をいただいで、実り多い一日となりました。

赤い羽根共同募金

【10月28日(金)】

昨年度から再開して行うこ



とになった「赤い羽根共同募金」。福祉委員が毎朝コッコツと募金を呼びかけました。文化祭でも保護者の皆様から御協力をいただくことができ、

総額9,703円が集まりました。社会福祉協議会の方に助成や、被災地域の物産品の啓発する年賀ハガキ発行など、花巻市の生活をよりよくするために使われます。

花いっぱいボランティア

【11月4日(金)】



矢沢中学校の花壇は、いつもきれいに咲く花でいっぱいです。寒風厳しい中、パンジーとビオラを植えました。菅原魅己福祉委員長の呼びかけにに応じ、全校生徒の半数にあたる93名がボランティアとして参加しました。寒さを乗り越えきれいな大きな花を咲かせることでしょう。

矢沢に文化の薫り！
文化祭に700作品の展示



人気のマスコット
フラワーロールちゃん



どんぐりと山猫



2日間で550名と多数の方がご来場



子ども園をはじめ小・中学校の作品



盆栽



ステンドグラス



チョーソーアート



パッチワーク・造花



山月会の生け花無料体験

文化庁の功労表彰受賞
矢沢の伝統を守る
幸田神楽保存会

幸田神楽保存会は、文化庁が芸術文化の振興や文化財保護の功績のあった個人、団体を讃える令和4年度地域文化功労者に文化財保護部門の部で選ばれました。11月15日に京都市で行われた表彰式には代表の矢戸敏憲氏が出席し、めでた



文化財（芸能）に指定されています。

く受賞されました。同会は昭和36年に設立。同年花巻市無形民俗文化財に平成13年に岩手県無形民俗文化財に指定され

【編集後記】

今回は新型コロナの影響で久しく行われていなかった矢沢地区文化祭及び矢沢伝統芸能伝承大会の模様を中心にお届けいたしました。この中で発表された団体の皆様におかれましては、練習、発表の場が限られる中で貴重な機会になったのではないのでしょうか。

さてこの1年を振り返れば、新型コロナウイルス、物価高、地球温暖化、そしてロシアによるウクライナ侵攻等々、決して明るい世相ではなかったと感じておりますが、来年は少しでも良くなることを願っております。それでは皆様、どうぞよいお年を！

（編集委員 多田 英治）

次号は3月1日発行予定です。